

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第5区分
 【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公開番号】特開2006-207064(P2006-207064A)

【公開日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2006-031

【出願番号】特願2005-19485(P2005-19485)

【国際特許分類】

D 0 1 F 6/80 (2006.01)

【F I】

D 0 1 F 6/80 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月30日(2007.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

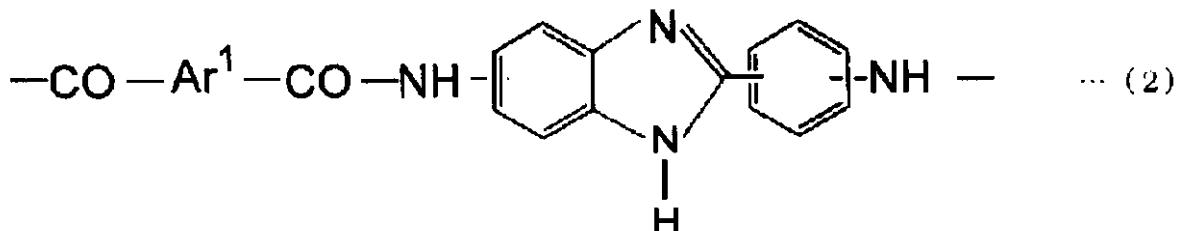
芳香族コポリアミド繊維を製造するに際し、下記式(1)、および下記式(2)の構造反復単位を構造単位の全量に対して30～100モル%含む芳香族コポリアミド溶液を紡糸口金から吐出したのち、温度20～50、濃度10～50重量%のNMP水溶液中で凝固せしめ、次いで温度20～50、濃度30～80%のNMP水溶液中で1.3～2.5倍に延伸せしめ、さらに熱処理することを特徴とする芳香族コポリアミド繊維の製造方法。

【化1】



(Ar¹およびAr²は各々独立であり、非置換あるいは置換された2価の芳香族基である。)

【化2】



(Ar¹は、非置換あるいは置換された2価の芳香族基である。)

【請求項2】

熱処理温度が300～550である請求項1記載の芳香族コポリアミド繊維の製造方法。

【請求項3】

芳香族コポリアミド繊維の引張強度が20cN/dtex以上、初期モジュラスが50

0 c N / d t e x 以上である請求項 1 又は 2 記載の芳香族コポリアミド繊維の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

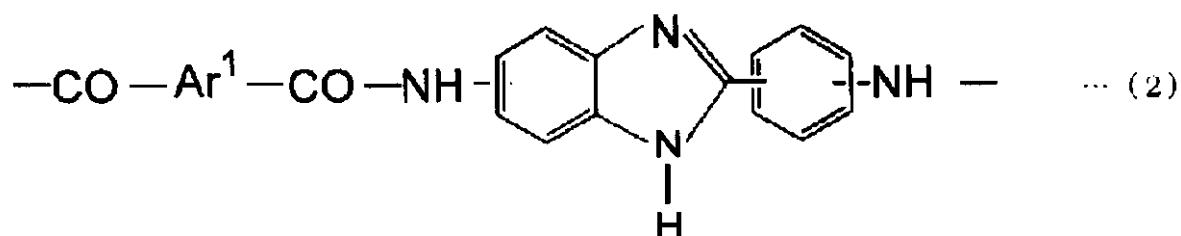
【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【化2】



(Ar¹は、非置換あるいは置換された2価の芳香族基である。)

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

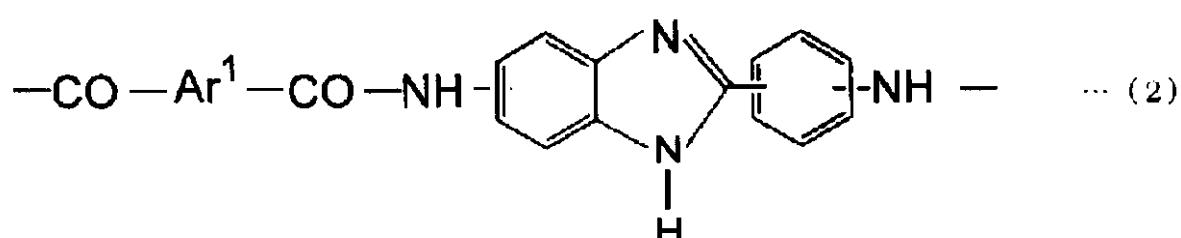
【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

【化4】



(Ar¹は、非置換あるいは置換された2価の芳香族基である。)